

長引く痛みはなぜ起こる?

PR

vol. 11

～新治療 さくがわクリニックのカテーテル治療～

文・佐久川 貴行(さくがわクリニック院長)

(第3週に掲載)



さくがわ・たかゆき

2021年9月、浦添市前田にさくがわクリニックを開院。モヤモヤ血管が原因で起こる長引く痛みで悩む患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供。放射線診断専門医。IVR(画像下治療)専門医・指導医。運動器カテーテル治療研究会・監事。

長引く痛みでお悩みの患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供する、浦添市前田のさくがわクリニック院長が、さまざまな疾患とその治療法について解説します。

かかと裏の痛み「足底腱膜炎」

そくていけんまくえん

足のつま先からかかと裏にかけてまっすぐ走る分厚い膜があり、これを足底腱膜と呼びます。この足底腱膜が、かかと裏にくっつく部位(踵骨の腱附着部)で炎症が起き、痛みを生じることが足底腱膜炎です。まれに土踏まず(足裏中央)に生じることもあります。

かかとの痛みの原因として最も頻度が高く、人口の3〜10%が罹患するという報告があります。40〜60代の女性にやや多く見られます。

足底腱膜炎の原因は、ランニングやジャンプ動作などで繰り返し負担が加わり、足底腱膜に微細な損傷や炎症を引き起こすことと考えられています。硬い地面に立ち続けることで足裏に負荷がかかるため、アスファルト上で長時間立ち仕事に従事する方に生じることも珍しくありません。

難治性になるケースも

症状はかかと裏に生じる強い痛みです。起床時1歩目に強い痛みがあり、歩行とともに痛みが和らぐのが特徴です。日中は長時間イスに座った後に立ち上がった時や、運動により強い痛みを感じる場合があります。これらの特徴的な症状から診断されることがほとんどです。併せて

痛みのない毎日を目指す 新たな治療



てX線検査でかかと裏のトゲ(踵骨の骨棘)、超音波検査で足底腱膜の腫れを確認できることがあります。

一般的な治療法として安静、ストレッチ、インソール、鎮痛薬内服、体外衝撃波が有効とされておられ、6か月以内に痛みが軽くなるのがほとんどです。一方、治療で改善が見られず、難治性の足底腱膜炎になる方もいます。この場合、足底腱膜やかかと裏のトゲ(骨棘)を切除する手術が検討されることもあります。

5分で終わる新治療

前述の治療で痛みが改善しない、もしくは手術は避けたい場合、新しい治療法(動注治療)を検討しても良いと思います。足底腱膜炎が生じた部位(かかと裏)には異常血管(モヤモヤ血管)が増えており、長引く痛みの原

因になることが分かってきました。足底腱膜炎の動注治療では、足首内側の脈を触れる動脈に、極細の注射針を入れて投薬します。注射針から治療薬を注入すると、血液の流れに乗ってかかと裏に生じたモヤモヤ血管に作用し、痛みを軽減させることができます。

通常、片足5分程度で治療可能です。極細の注射針を入れる時のみチクツとした痛みはありますが、それ以降に痛みを感じることがほとんどありません。初診の方でも当日治療を受け、ご帰宅可能です。その後の日常生活はいつも通りで構いません。

足底腱膜炎による長引く痛みで悩んでいる患者さんは多数いらっしゃいます。様々な治療を行ったが改善せず、痛みと付き合っている多くは、と治療を諦めている多くの患者さんに届くよう願っています。

※動注治療は、オクノクリニック(表参道・銀座・横浜)の奥野祐次総院長が2014年に開発された治療で、年間4千件の治療実績があります。

長引く痛みへのカテーテル治療 当院は自費診療です

五十肩、ひざの痛み、へバーデン結節(指の痛み)、その他関節痛

さくがわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~14:00	●	●	●	▲	●	★
午後 16:20~17:40	●	▲	●	●	●	●

●/外来・手術 ▲/不定期診療 ★/10:00~11:40

浦添市前田1丁目11番1号 1階

予約制 ☎098-877-5577

<https://www.sakugawa-clinic.com/>